

事業番号	09 03 05	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	T2 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	⑥様々な人の労働参加を全国トップに						
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり 2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保						

1 現状と課題

目指す姿	○理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により、農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識・技術の修得が進んでいる。 ○寮生活や自らテーマを定めて行うプロジェクト学習等により、他者との協調・自己の確立等の社会性が涵養され、21世紀の農業・農村を担う優れた人材が養成されている。	
これまでの取組	○スマート農業の講義を開講し、AI、ICT、ロボット技術等のスマート農業に関する授業を充実強化 ○新規就農者を養成するため、新規就農里親前基礎研修、就農体験研修、農業機械利用技能研修等の開催 ○就農希望者等の大型特殊自動車及びけん引免許取得を支援 ○「農ある暮らし」を志向する移住者や定年帰農者などの定着を確保するため、「農ある暮らし入門研修」を開催	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	農大改革により、卒業生の就農率は年々着実に向上しているが、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。
	今後の方向性	先端技術であるスマート農業の講義及び実習の充実や外部講師による実践的講義の拡充など農大の魅力向上を図り、県内外からの意欲ある学生確保と就農率の更なる向上を目指す。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<p>○AI、ICT、ロボット技術等のスマート農業に関する授業を充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の講義を実施し、研究開発の第一人者より最新の知見を教授する。 ・GPSトラクターや自動運転田植え機等のスマート農業機械の稼働体験や効果的な運用方法を習得できるスマート農業推進事業(実践講座)を開催する。 <p>○新規就農里親前基礎研修、就農体験研修、農業機械利用技能研修等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者を養成するため、「新規就農里親前基礎研修(通年)」や「就農体験研修(4回)」を実施する。 ・就農希望者等の大型特殊自動車及びけん引免許取得を支援する。 <p>○「農ある暮らし」を志向する移住者や定年帰農者などの定着を確保する取組を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「農ある暮らし入門研修」を開催し、移住者等を支援する。
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【DX】総合農学科において、先端分野であるスマート農業の講義や実習を実施する。また、研修部において、GPSトラクターや自動運転田植え機等のスマート農業機械の稼働体験や効果的な運用方法を習得できるスマート農業推進事業(実践講座)を開催する。</p> <p>【学びの県づくり】研修部において、「農ある暮らし」を志向する移住者や定年帰農者などの定着を確保するため、「農ある暮らし入門研修」を開催する。</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	農学部 卒業生就農率	%	55.6	↓	50.8	↑	55.0	67.0
2	研修部 けん引免許取得率	%	99	↓	98	→	98	90
3	研修部 大型特殊免許取得率	%	100	→	100	↓	95	95
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	
	前年度繰越				
予算額	当初予算	72,900	69,622	要求	69,966
	補正予算	-303	11,295	予算案	69,944
	合計(A)	72,597	80,917	要求	69,966
うち一般財源		45,655	43,810	要求	42,766
				予算案	42,744
決算額(B)		68,133			
職員数(人)		30.0	30.0		30.0

設定理由	成果指標	1.本県農業を担う人材の育成と就農者の確保を促進するため、農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」を成果指標に設定 2.研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、受講者の多いけん引免許の取得率を成果指標に設定 3.研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、受講者の多い大型特殊免許の取得率を成果指標に設定
	目標値	1.農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」のR4目標値から引用 2.受講者の適性のばらつきを考慮し、研修の効果の指標として過去の実績を踏まえて設定 3.受講者の適性のばらつきを考慮し、研修の効果の指標として過去の実績を踏まえて設定

予算要求からの主な変更点	農業大学校運営費について、過去の実績を踏まえ、PCB運搬委託費を減額
--------------	------------------------------------

事業番号	09 03 05	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校運営事業			部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	農業大学校運営費	48,758 千円	49,497 千円	要求 51,503 予算案 51,481 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	農業大学校運営費	直接	平成26年度から新設した実践経営者コース入学生及び既存コースの学生に対して、より実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の修得教育を実施する。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
2	実科・研究科費	7,679 千円	7,562 千円	要求 7,416 予算案 7,416 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施する。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
3	研修部費	10,207 千円	9,667 千円	要求 9,727 予算案 9,727 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	研修部費	直接	里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施する。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
4	農業大学校施設整備費	6,256 千円	2,896 千円	要求 1,320 予算案 1,320 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	農業大学校施設整備費	直接	松代キャンパスの本館、共用棟のトイレ改修工事を実施する。	